



Since 1937

CEF ニュース

No.156 2024. 秋号

このように、この小さい者たちの一人が滅びることは、天におられるあなたごとの父のみこころではありません。マタイ 18:14

「隠さず伝えよ」後編



国際CEF会長

チョウ
趙 エレミヤ

前編 (CEF ニュース No.155

2024 春号) では、詩篇 78:1-4 より

聖歌隊長アサフが過去の反逆の歴史から、次世代に神の教えを隠さず伝えることが未来を形作る鍵であることを伝えました。今回の後編では詩篇 78:5-8 より神のみこころと私たちの責任について学びます。

神の計画と次世代への意志

主は ヤコブにうちにさとしを置き イスラエルのうちにみおしえを定め 私たちの先祖に命じてその子らに教えるようにされた。

後の世代の者 生まれてくる子らがこれを知りさらに彼らが その子らにまた語り告げるため

詩篇 78:5-6

1) 神は今の世代に、次の世代に対する責任を与えておられる

大人は子どもたちに神と神の言葉を教える大きな責任があります。もし親がこの使命を果たさなければ、次の世代は神を知らず、神から離れてしまいます。不信仰な親は、子どもたちに神の御言葉を教えることも、神に導くこともしません。これらのことは、キリストの弟子である私たちの責任です。私たちの世代が、次の世代の信仰を決定するので

2) 神は次の世代を深く気にかけておられる

神の関心は現在の世代だけでなく、次の世代にも向けられています。子どもたちは力を持たず、多くのことを知らず、大したものを持っているわけでもありませんが、未来の 100% は子どもたちのものです。未来は今日の子どものたちのものであり、

彼らは今日、私たちの手の中にあります。今日、子どもたちをキリストに導くことで、私たちは未来を変えることができます。だからこそ、人々が子どもたちを連れて来たとき、弟子たちが彼らを叱責するとイエスは憤慨して、「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。邪魔してはいけません。神の国はこのような者たちのものなのです」(マルコ 10:14)と言われました。子どもたちは、永遠の命と永遠の死の岐路に立っています。この邪悪で 頑固な時代における困難があっても、私たちは彼らを 永遠のいのちへと導く世代にならなければなりません。

3) 神はすべての世代のすべての子どもたちを弟子にしたいと願っておられる

この箇所には 4 つの世代が示されています。「私たちの先祖に命じて その子らに教えるようにされた。後の世代の者 生まれてくる子らがこれを知り さらに彼らが その子らにまた語り告げるため」神は、子どもたちが神を知り、やがて彼らの子どもたちに教えることで、終わりの時まで、すべての世代が神を知り、神に仕えるようになることを望んでおられます。これは、子どもたちに福音を伝えることで全世界を救うという、神の驚くべき戦略です。私たちは子どもたちをキリストに従う弟子に育てなければなりません。そうすれば、子どもたちが成長したときに、自分の子どもたちに教えることができるようになります。その結果、信仰は絶たれることなく、福音は地の果てにまで広がっていくでしょう。人類が福音から切り離されてしまう危機まで、あと 1 世代です。今の世代が次の世代に福音を伝えなければ、次の世代は神と共に歩まない世代になってしまいます。愛する CEF ファミリーの皆さん、神のために、そして世界の子どものたちの救いのために、強くあり、立ち上がって、大きな夢を持ってください。

(二面に続きます)

神を畏れる世代をつくりたいという神の願い

詩篇 78:7-8 「彼らが神に信頼し 神のみわざを忘れず その命令を守るために。先祖たちのように強情で逆らう世代 心定まらない世代 霊が神に忠実でない世代とならないために。」 神は次の世代に大きな夢を持っておられます。

- 1) 神に信頼すること
- 2) 神のみことばに従って生きること
- 3) 神に忠実であること

そうすれば、地上は神を畏れる人々で満たされます。これは、今の世代が伝道し、次の世代に信仰を伝える責任を担うことによるのみ実現します。神は未来を私たちの手に委ねました。

結論

神はこの大きな責任を CEF に与えてくださいました。もしあなたや私が黙っていたら、誰が話すのでしょうか？私たちがためらうなら、子どもたちは福音を聞く機会を逃してしまおうでしょう。私たちが困難によって、また恐れによって引きこもっているのなら、私たちはいのちの福音を隠しているのです。福音を隠したり、門を閉ざしたりしてはいけません。むしろ、私たちは行って、救いの物語を伝えなければなりません。私たちは、天国の扉が神によって閉ざされる前に、カルバリの十字架の福音を携えて、地の果てまでもっと遠く、もっと広く行かなければなりません。私たちはこの世の何ものにも頼らず、ただ主に信頼し、次の世代が神を畏れる世代となるように、共に主に向かって叫び求めましょう。

TCE教師訓練者 (IOT) 資格更新コース



ジャン・ジョンソン 教育主事

5月21-24日にTCEレベル1、レベル2のIOT資格更新コースが茨城本部で開催されました。

CEF アジア・太平洋地区教育主事 ジャン・ジョンソン先生が来日し、レベル1には各地から9名が茨城本部で、2人がZOOMで参加しました。レベル2には引き続き4名が学びました。

コロナのために2019年を最後に、本部でのTCE集中コースが開かれておらず、やっと対面でのクラスを開催しようとしている時に、ジャン先生を迎え新しく改編されたTCEレベル1、2を学ぶことが出来、主からの励ましと後押しを強く感じました。

ジャン先生は、昔と変わらず、子どもの魂とその教師達の訓練にとっても情熱的で、私たちのさまざまな質問にも日本の子ども達、教師達のために益になるようにと、明確に答えて下さいました。



柳平夏帆スタッフ

アメリカで最新のクラスを既に学んできた柳平夏帆スタッフの通訳を中心に、2名の外部からの姉妹方の通訳の助けをいただき、新しくなったテキストを学びました。

レベル1では特に中心的な存在の「字のない本」、聖書レッスンの変更点について学び、共通の理解を持つことができました。また、久しぶりに会うことが出来たIOTたちは、再会を喜び、教師から学生に戻って、錆びかけた頭をフル回転させ、楽しく和気あいあいと学び、「楽しかった！もっと学びたい！」と声をあげていました。

また、本部スタッフやボランティアの方々の助けによって、毎食、栄養のバランスを考えたおいしい食事をいただき、生活面でも今後の本部での集中コース再開の手応えを感じました。

しかし、この学びだけでIOTの資格が更新されるわけではなく、これから、TCEコースを受け持って初めて資格が更新されます。そのためには、まず改編されたテキスト部分を翻訳し、読み合わせ、校正し、印刷するという、いくつもの行程を踏んで行く必要があります。少ないスタッフですが、ボランティアの方々のご協力をいただいで、今年中には完成させたいと願っています。ぜひ、お祈りに覚えていただければ幸いです。そして、来年には、ぜひ本部や各地でTCEコースが開催され、多くの子どもを救いに導く教師が訓練されるようにお祈り下さい。



今回の更新コースでスタッフや関係者が久しぶりに一堂に会することができたことは大きな恵みであり、励ましでした。さながら学院時代の同窓会。また、今回、スタッフの平均年齢がグッと下がっていることにも、びっくりしました。神さまは生きておられ、皆さまの祈りに応え、新しい働き人を加えて下さっています！ぜひ、教材室を覗きに、またCPCセミナーにもご来会下さい。



福島デボーション・デイキャンプ



この夏休みを利用して、コロナ以降久しぶりに家族で日本を訪れました。いわき市に滞在中、子どものミニストリーをしている高水林宣教師のデボーションキャンプに、姉の孫娘が参加することを願っていたのですが、高水教師の勧めで思いがけず姉たちと一緒に私もデボーションキャンプに参加することになりました。

キャンプに来ていた日本の子どもたちは、学校が休みになるとデボーションキャンプに参加する子どもたちでした。幼い頃から訓練され、聖書を読み、真剣にみことばを分かち合う姿は普通のことではありません。そのような子どもたちの姿は、本当に立派で愛らしく、大変驚かされました。毎日、デボーションをしながらも、みことばに集中できず、おろそかにしていた自分の姿がどれほど恥ずかしいことか、心に突き刺さるような思いがしました。

今回のデボーションキャンプでは、エステル記を読むことになりました。一節一節を一緒に読み、みことばに集中できない時は分かち合いをパスしたり、宣教師にさまざまな質問をしたり、意見を言ったりしながら、各自に与えられたみことばからの気づきを一緒に分かち合い、豊かなみことばの恵みを味わいました。キャンプ期間中、子どもたちは嫌な顔をするのは一切なく、自由に活発に走り回り、楽しそうな表情で遊んでいました。

エステル記を黙想すると、登場人物の魅力的な物語から、さまざまな陰謀と策略によるユダヤ人滅亡の危機的状況の中でも信仰を失わず、信仰の道を守る人々を神さまが立てられて、彼らを通して働かれ、驚くべき大逆転につながれることがわかります。

主は、長い間解決しない問題で心の深い悩みを抱え、苦しみの中を生きている私たち家族を今回のデボーションキャンプに招待して下さり、みことばで深い慰めと平安を得る時として下さいました。私たち家族にも驚くべき逆転を成し遂げられる主に望みをおいて、さらに主を頼りにしていきたいと思えます。エステル記は、私たち家族の心の奥底に刻み込まれて深い影響を与えました。忠実な神さまを賛美し、感謝を捧げます。

(泉グレイスチャペル 金美淑宣教師)

本部デボーション・デイキャンプ

8月9日、茨城本部で子どものデボーション・デイキャンプが開かれ、子ども14名、大人22名が参加しました。子どもたちが実際に、ローマ9章と10章のみことばを読み、デボーションを通してみことばから教えられました。午後のわくわくタイムでは、先に読んだローマ9章、10章からイスラエルについて、楽器や食べ物なども用いて学び、その後ユダヤ人の救いのために篤い祈りのときを持ちました。以下、子どもたちの感想を原文のまま掲載します。



●わくわくタイムのじかんが1ばんにたのしかった。いすらえるのいろんなことがしれた。

(小1 R.I)

●きょうの一ばんたのしかったのはなんでもバスケットです。せいしよのべんきょうもできてうれしいです。またらいねんもきたいです。

(小2 A.H)

●ゲームもおやつがあつていい一日になった。

(小2 R.T)

●みんなであそべたりべんきょうしたりイスラエルのことがしれてよかった。

(小3 S.Y)

●じゆう時間にふうせんとかであそんだのが楽しかった。せいしよのことがよくわかった。わくわくタイムでイスラエルのことがよくわかった。

(小3 K.A)

●わくわくタイムの時間が一番楽しかった。イスラエルのことがいろいろしれてうれしかった。せいしよのことがわかった。じゆう時間にあそべてうれしかった。

(小4 S.I)

●イスラエルについて知れてよかった。

(小5 N.T)

●イスラエルのことについてしれたし、友だちができて、たのしかった。

(小5 I.H)

●最初はメモのかきかた分からなかったけどみんなのメモをきいてメモのかきかたが分かった。イスラエルのおかしおいしかったです。イスラエルのつのおえたのしかったです。みんなにぎやかでたのしい思い出になりました。11章お家でメモかきます。

(小6 M.Y)

(四面に続きます)

デポーション・デイキャンプ (子どもたちの感想の続き)

- イスラエルのことやユダヤ人のことが分かった。(小6 N.T)
- みんなで聖書を読んで、わかちあうことで感じ方や、気になったことが、ちがって、おもしろかったです。イスラエルの食べ物やつづえ、写真を見て、ちゃんとあるんだなと実感しました。(中2 M.H)
- 神様のことをみんなでまなべてたのしかったです。さんびの時間がとくにすきです。ローマの9章は、信仰と救いについてで、神様のご計画をまなべてよりよくわかってよかったです。イスラエルについてもまなべて、とてもおもしろかったです。とくにつづえがふのがいがいとむずかしかったです。またいきたいです。(中2 S.T)
- 今回キャンプ初参加で、最初は緊張していましたが、最初のプログラムで遊んだ時に少し他の子とうちとけることも出来、次のプログラムのさんびやデポーションも楽しく、色々なことをローマ書から学ぶことが出来ました。お昼ご飯のカレーも、おやつもおいしかったです！わくわくタイムではイスラエルの文化や、イスラエル人がよく食べるデザートも試食できてプチ海外旅行のようで楽しかったです。イスラエルのために祈る時間も良かったので、帰っても続けていきたいです。

(高2 Y.T)



世界祈禱日は、11月6日(水)です。
締め切りは10月16日(水)です。

東北支部設立式(仮称)

11月23日(土・祝)に東北支部の設立式(仮称)を予定しています。式の祝福を覚えてお祈りください。

CPC(クリスマスパーティークラブ)セミナー

今年是新教材「いのちの光」を用いて下記の日程で行われます。

茨城

10月12日(土) 10:30-12:00
日本CEF本部

大阪

10月17日(木) 10:30-12:30
福音交友会ミッションセンター

東京

10月22日(火) 10:30-12:00
淀橋教会
10月27日(日) 14:00-15:00
浅川国際キリスト教会(八王子)
11月12日(火) 12:00-15:00
家庭集会(八王子)

福島

10月26日(土) 10:30-12:00
東北支部

ZOOM

10月29日(火) 19:30-21:00

※詳しくは、チラシをご覧ください。

いつも日本 CEF へのお祈りとご支援、ご協力ありがとうございます。今年から祈りの友は隔月、CEF ニュースは年2回発行となりました。住所変更や発送の停止、また郵送からメールマガジンへの変更等は、各種連絡方法やQRコードを読み取りご連絡ください。



🍌🍌🍌🍌🍌 会計報告 尊い献金を心から感謝いたします 🍌🍌🍌🍌🍌

献金 (24年3-8月)		収入 (3-8月)		支出 (3-8月)	
3月	875,048	献金	4,805,662	人件費	5,181,328
4月	820,457	謝礼	25,000	運営・管理費	3,943,448
5月	572,890	教材部	79,700	什一献金	443,122
6月	813,290	教材売上	214,860		
7月	803,100				
8月	920,877				
合計	4,805,662	合計	5,125,222	合計	9,567,898

CEF(児童福音伝道協会)は、福音を聞かずにいる子どもたちをキリストに導き、霊的成長を助け、福音的教会に結びつけるためにキリストのからだなる教会に仕える組織で、諸教会および主にある兄弟の祈りと献金により支えられ、奉仕しています。

発行日/2024年10月1日 発行/日本児童福音伝道協会 〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6
 No.156/2024 秋号

Tel (0299)28-2031 Fax (0299)28-2028 振替 00160-1-59313

Email japancef@cef.or.jp ホムンヂョ http://www.cefjapan.com